

日米国際地域分権フォーラム ～ 住民自治：地域の力を掘り起こす ～

グローバル化と市場主義が徹底されつつある現代社会にあって、介護や子育てなどこれまで私的に解決されてきた問題が、みんなで解決していかなければならない公的な問題として噴出しています。他方、逼迫した財政状態にある自治体、あるいは自発的な参加に乏しい自治会・町内会は、住民ニーズの多様化・高度化ともあいまってこうした問題に対して十分応えきれていないのが現状です。このような状況にあって、アメリカではすでに1970年代から地域住民の自発的な参加にもとづく地域組織化運動、コミュニティ・プランニング政策をはじめとする住民自治が活発に展開されています。このフォーラムでは、こうした運動を牽引してきた Neighborhoods USA のリーダーをお招きし、既存の地域組織の枠組みを超えた、住民の自発的な参加と協働による住民自治、コミュニティ自治の姿について講演していただくとともに、日米の先進事例の紹介をもとに、住民一人ひとりがゆるやかに結びついた安心して暮らせるコミュニティをいかにして築き上げていくかについて実践的に考えます。

日時： 2008年9月12日（金）13：30～16：30

場所： 関西学院西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館（Tel：0798-54-6013）

参加費： 無料（通訳がつきます）

第Ⅰ部 基調講演

趣旨説明 中川 幾郎（帝塚山大学教授）

基調講演 エルトン・ゲートウッド, Ph.D.（Neighborhoods USA 副会長）
NEIGHBORHOOD GOVERNANCE AND GLOBAL COMMUNITIES :
DEMOCRACY, CIVIL SOCIETY, ROOTED IN NEIGHBORHOOD
AND GOOD GOVERNANCE
（住民自治とグローバル・コミュニティ）

第Ⅱ部 パネルディスカッション

事例報告1（アメリカ：デイトン市）

シュディ・マーチンソン

（デイトン市都市計画・コミュニティ開発部 市民参加部長 / Neighborhoods USA 会長）

事例報告2（日本：神戸市）

中西 理香子（神戸市市民参画推進局参画推進部 主幹）

コメンテータ： 田中 義岳（コミュニティ政策学会理事、前宝塚市まちづくり推進担当部長）

加藤 晃規（関西学院大学総合政策学部長・総合政策研究科委員長）

コーディネータ： 長谷川 計二（関西学院大学教授）

前山 総一郎（八戸大学教授）

主催：関西学院大学大学院総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム、コミュニティ政策学会

後援：三田市、宝塚市、西宮市、兵庫自治学会

◎問合せ：関西学院大学大学院総合政策研究科（Tel：079-565-7601, Fax：079-565-7605）